

## 機器の ご案内

### 最新の骨塩定量測定機器を導入します！

骨粗しょう症(骨粗鬆症)の診断や治療による評価等のために、6月より、骨塩定量測定装置(GE社製 PRODIGY-C)を導入します。当院の骨塩測定機器はDEXA法(デキサ法)と呼ばれる微量なX線を利用して骨量を測定します。最も正確で信頼性の高いデータを得ることができます。

### DEXA法とは？

DEXA法とは、Dual Energy X-ray Absorptiometry の略で、2種の異なるエックス線を照射し、骨と軟部組織の吸収率の差で骨量を測定する方法という意味です。被ばく量は極めて少なく、迅速かつ精度の高い測定ができ、骨塩定量測定の標準とされています。



### 測定方法

当院は腰椎と大腿骨頸部(足の付け根の部分)を測定します。骨折を起こしやすい部位を直接測ることで、高い精度の骨量が分かります。また腰椎と大腿骨頸部を測定すれば、他の部位の骨折リスクの評価もすることができます。当院では腰椎と大腿骨頸部の2ヶ所の骨量を測定し、評価をしています。検査時間は10分程度で、患者さまは検査着に着替えていただき、じっと寝ているだけの検査です。

### ご紹介の流れ

- ① 地域医療機関より、患者さまをご紹介(予約不要です)
  - ② 患者さまのご都合のよい時間に当院の**地域医療連携室**へ来院してください。  
受付:9時~16時30分
  - ③ 検査実施(検査時間は10分程度)
  - ④ 検査結果を患者様にお渡しします。(ご希望があれば検査結果を郵送します。)
  - ⑤ 検査結果をお持ちになって、地域医療機関で患者さまが診察を受けられます。
- ※ 検査と併せて診療をご希望される場合は、通常の紹介と同じく、地域医療連携室にご連絡ください。

地域連携に係るお問い合わせは下記までお願いします。

愛媛労災病院 地域医療連携室

TEL : 0897-33-6199 FAX : 0897-33-6198

